

仙台市観光復興対策実施計画 令和元年度評価調書

別紙

都道府県名	仙台市	計画に包摂される市町村	仙台市				
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	文化観光局観光交流部誘客戦略推進課 菅原 恭子				
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(単位:万人)	12.0	13.8	20.0	23.6	28.0	
指標②	外国人旅行消費額(単位:億円)	49.0	56.2	77.3	94.3	115.0	
指標③							

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況		①仙台空港国際線の旅客数(H30年度311,377人→令和元年度379,178人) ②仙台駅観光情報センターの外国人利用者数(H30年16,412人→令和元年18,339人)					
2 定量的指標の達成状況	指標①	目標値	23.6	目標値の実現状況に関する評価	令和元年の仙台市内における外国人延べ宿泊者数は334,767人と過去最高を更新し、前年度に引き続き目標を達成することができた。 宮城県における外国人旅行消費額は、観光・ビジネス目的共に観光入込客数が増加したことで、前年を大きく上回っており、外国人延べ宿泊者数について県全体に占める割合が高い本市においても目標を大きく上回ることができた。		
		実績値	33.5				
	指標②	目標値	94.3	目標値の実現状況に関する評価			
		実績値	249.1				
	指標③	目標値		目標値の実現状況に関する評価			
		実績値					
3 事業の進捗状況	概ね順調に進んでおり、外国人延べ宿泊者数にかかる目標も達成できている。						
4 評価方法	仙台空港国際化利用促進協議会幹事団会議において外部関係者から本市インバウンド施策にかかる意見を聴取。KPIの達成状況に対するコメントは市独自評価による。						
5 中間評価の公表方法	市のホームページ及び担当課窓口にて公表する。						
6 計画全体の総合評価	タイ及び台湾を中心に、インフルエンサー・メディアを活用した情報発信等による各種プロモーションを実施し、仙台及び東北の更なる知名度向上を図るとともに誘客につなげることができた。また、作並駅の案内板の多言語化や広域二次交通の整備及び情報のデジタル化支援等の受入環境整備のほか、インバウンド向け防災観光推進事業等による観光コンテンツの充実など、本市における外国人観光客の満足度向上に資する取組みについても、一定の成果を挙げることができた。						
7 今後の方針等	ウィズコロナ・アフターコロナにおけるインバウンド回復を見据えて安心・安全を基本とした新しい旅行需要への対応を進めながら、引き続き各国・地域の特性に応じてプロモーション、受入環境整備、コンテンツの磨き上げを行う。また、東京オリンピック・パラリンピックや東北DCの開催を契機とした誘客促進を図り、地域経済の活性化につなげていく。						